

ヘルスケアネットワーク

9・10月に両輪会

ヘルスケアネットワークが主催する「安全と健康を推進する協議会 両輪会」が、26日に東京都トラック総合会館で、10月10日に大阪府トラック総合会館でそれぞれ開催される。今回のテーマは「運輸業界の高齢化への対応と働き方」。同会では、2013年に「待ったなし！高齢ドライバー対策」、2016年には、「人材不足を乗り切るための中高年の活用」をテーマに取り上げ、今回に先駆け議論を交わしてきた。今回はITの進捗なども踏まえて、多様化・深刻化が加速する高齢者問題を、従来の「

する。

さらにグループディスカッションでは、IT機器と運転、健康年齢の指標について、中年のモチベーションへの対応について討論も行われる。

協議会会費は、一般が3000円でCHIS会員の場合は2000円。交流会出席の場合は4000円が別途必要。定員は各会場40人で、東京会場の申し込み締め切りは20日、大阪会場の申し込み締め切りは10月7日。詳しくは同法人のホームページで。

(木村麻理奈)

安全と健康」に「働き方」をプラスして、再び熱く議論が交わされる。各社の生の声を聞くことが出来るのが、同会最大の特徴だ。

協議会では高齢ドライバーの聴力の状態と課題、運輸業における高齢ドライバーの安全運行、職業寿命延伸の取り組み事例などが紹介されるほか、企業発表として、合通総務部の梅田貴之部長が「高齢化に対応した我が社の基準と、健康管理の再スタート」をテーマに講演